

令和7年5月15日

質疑回答書

入札参加者殿

瀬戸市長 川本 雅之

西部浄化センター耐水化詳細設計業務委託において、下記のとおり質疑がありましたので回答します。

[illegible]

西部浄化センター耐水化詳細設計業務委託 対策リスト

棟名称	階数	工種	写真番号	室名	項目	浸入経路 開口区分	対策の必要性			対策メニュー	備 考
								浸水深以下	重点化区画		
管理棟	1F	建築	管理棟_A5	電気室	搬入扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	管理棟_A6	電気室	扉	施設内部	有	○	○	防水扉	
		建築機械	管理棟_AM7	電気室	ドレン管・冷媒管	屋外設備等	有	○	○	高所化	電気室と屋外貫通部
		建築機械	管理棟_AM8	電気室	ドレン管・冷媒管	屋外設備等	有	○	○	高所化	電気室と屋外貫通部
		建築機械	管理棟_AM9	電気室	ドレン管・冷媒管	屋外設備等	有	○	○	高所化	電気室と屋外貫通部
		建築電気	管理棟_AE4	玄関ホール	誘導灯	施設内部	有	○	－	漏電ブレーカー設置	AE5の改修に含む
		建築電気	管理棟_AE5	－	コンセント	施設内部	有	○	－	漏電ブレーカー設置	電灯分電盤ML-1の改修
		建築電気	管理棟_AE6	－	コンセント	施設内部	有	○	－	漏電ブレーカー設置	電灯分電盤ML-3の改修
	屋外	建築機械	管理棟_AM5	－	室外機	屋外設備等	有	○	○	高所化	閉塞→高所化へ変更
		建築機械	管理棟_AM6	－	室外機	屋外設備等	有	○	○	高所化	閉塞→高所化へ変更
		建築電気	管理棟_AE1	－	PBOX	屋外設備等	有	○	○	高所化	
		建築電気	管理棟_AE2	－	コンセント	屋外設備等	有	○	○	漏電ブレーカー設置	AE5の改修に含む
		建築電気	管理棟_AE3	－	PBOX	屋外設備等	有	○	○	高所化	
水質検査棟	1F	建築電気	水検_AE1	－	コンセント	施設内部	有	○	－	漏電ブレーカー設置	電灯分電盤L-0を改修 返送汚泥ポンプ室への電源送
		建築電気	水検_AE2	－	コンセント	施設内部	有	○	－	漏電ブレーカー設置	電灯分電盤L-1を改修
		電気	水検_PE2	ブロー室	監視制御設備	－	有	○	－	高所化	浸水により他設備に影響が出るため対策必要（2系凝集剤注入ポンプ現場操作盤）
	屋外	機械	水検_PM1	－	反応タンク設備	屋外設備等	有	○	－	配管の立上げ	配管が管廊に接続されているため、対策必要
2系水処理	1F	建築	水処2_A1	階段室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	水処2_A3	階段室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	水処2_A4	階段室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築電気	水処2_AE1	電気室	コンセント	施設内部	有	○	○	漏電ブレーカー設置	2系水処理電気室電灯分電盤 WL-1
		土木	水処2_C1	電気室	マンホール(水密蓋以外)	施設内部	有	○	○	開口部の周囲立ち上げ	電気ケーブル開口への浸水対策のため
	屋外	機械	水処2_PM3	－	最初沈殿池設備	屋外設備等	有	○	○	配管改造による高所化	流量計が耐水レベル以下のため対策必要
		電気	水処2_PE6	－	計装設備	－	有	○	－	高所化	重要設備のため対策必要（2系流入水流量計）
		電気	水処2_PE8	－	開口（ケーブル用）	屋外設備等	有	○	○	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
機械濃縮棟	1F	電気	水処2_PE9	－	ハンドホール	屋外設備等	有	○	○	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
		土木	水処2_C2	－	マンホール(水密蓋以外)	屋外設備等	有	○	○	水密蓋	ハンドホールからの浸水対策のため
		建築	機濃_A1	機械室	シャッター	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	機濃_A2	機械室	シャッター	外部開口	有	○	○	止水板	
汚泥処理棟	1F	建築	機濃_A3	機械室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	機濃_A4	機械室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	汚処_A1	玄関ホール	玄関扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	汚処_A2	搬出室	シャッター	外部開口	有	○	○	止水板	
		建築	汚処_A3	搬出室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	汚処_A5	脱臭機室	遮音壁	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	汚処_A6	攪拌機室	遮音壁	外部開口	有	○	○	防水扉	
汚泥処理棟	1F	建築	汚処_A7	攪拌機室	ガラリ窓	外部開口	有	○	○	閉塞+機能移設	耐水レベル以上の窓をガラリに改造

西部浄化センター耐水化詳細設計業務委託 対策リスト

棟名称	階数	工種	写真番号	室名	項目	浸入経路 開口区分	対策の必要性			対策メニュー	備 考
								浸水深以下	重点化区画		
		建築	汚処_A8	電気室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	
		建築	汚処_A11	便所	三方枠	施設内部	有	○	○	防水扉	
		建築機械	汚処_AM5	PS	ドレン管	屋外設備等	有	○	○	高所化	
		電気	汚処_PE3	電気室	ハンドホール	屋外設備等	有	○	○	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
		電気	汚処_PE10	電気室	ハンドホール	屋外設備等	有	○	○	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
	屋外	電気	汚処_PE13	電気室	受変電設備	－	有	○	○	漏電ブレーカー設置	旧汚泥棟（建築電気設備）浸水により他設備に影響が出るため、旧汚泥棟への電源送りブレーカーについて対策必要
		建築機械	汚処_AM2	－	室外機	屋外設備等	有	○	○	高所化	閉塞→高所化へ変更
		建築機械	汚処_AM4	－	室外機	屋外設備等	有	○	○	高所化	閉塞→高所化へ変更
		土木	汚処_C13	－	マンホール(水密蓋以外)	屋外設備等	有	○	－	水密蓋	ハンドホールからの浸水対策のため
		土木	汚処_C14	－	マンホール(水密蓋以外)	屋外設備等	有	○	－	水密蓋	ハンドホールからの浸水対策のため
塩素混和池	1F	建築	塩混_A1	滅菌室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉	給気ガラリ付き、防水扉化のためガラリ設置不可
		建築	塩混_A2	滅菌室	扉	外部開口	有	○	○	防水扉+機能移設	給気ガラリ付きなので、別途耐水レベル以上の窓を給気ガラリに改造（塩混_A1と関連）
		建築機械	塩混_AM2	滅菌室	流し台、給排水	屋外設備等	有	○	○	バルブの手動開閉	
		電気	塩混_PE2	滅菌室	開口（ケーブル用）	屋外設備等	有	○	○	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
		電気	塩混_PE8	滅菌室	計装設備	－	有	－	○	設備の移設	壁立ち上げ（土木）に支障となる計装設備の移設（濁度計）
		土木	塩混_C6	滅菌室	スラブ開口(水密蓋以外)	施設内部	有	○	○	開口周り立ち上げ	滅菌室への浸水を防ぐため、立ち上げを設ける
	屋外	電気	塩混_PE6	－	計装設備	－	有	○	－	配管改造による高所化	PH計用電磁弁が浸水するため対策必要（処理水PH
場内設備	屋外	機械	用水_PM2	薬品室	用水設備	－	有	○	－	防液堤の高上げ	ポンプ高所化→防液堤高上げへ変更
		電気	用水_PE1	薬品室	負荷設備	－	有	－	－	ケーブルルート変更	防波堤立ち上げ（土木）に支障となるケーブルのルート変更（苛性ソーダ注入ホップ盤）
		電気	井戸_PE1	No.1井戸	負荷設備	－	有	○	－	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
		電気	井戸_PE2	No.2井戸	負荷設備	－	有	○	－	開口部の閉塞	将来的（設備更新時）にはケーブルルートを高所化する
		土木	用水_C1	薬品室	用水設備	－	有	○	－	設備周囲立ち上げ	苛性ソーダ注入設備への浸水を防ぐため立ち上げを行う
		土木	井戸_C1	No.1井戸	開口(水密蓋以外)	外部開口	有	○	－	開口部の周囲立ち上げ	井戸ホップへの浸水を防ぐため立ち上げを行う
		土木	井戸_C2	No.2井戸	開口(水密蓋以外)	外部開口	有	○	－	開口部の周囲立ち上げ	井戸ホップへの浸水を防ぐため立ち上げを行う